

維持・再生小委員会活動報告

維持・再生小委員会
小委員長 亀村 勝美

1. 小委員会の目的

地下空間学の構築に貢献するために、地下構造物の合理的な維持再生法について検討する。

都市の地下利用は、限られた国土しかない我が国の社会資本を充実させるためには不可欠であり、「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」が成立した今、新しい価値観に基づいた地下利用の推進が望まれている。

しかし、これまでの地下利用は必ずしも満足できるものではなく、今後もこれまでと同じような地下開発を続けることは経済面や環境面からも許されないことを認識する必要がある。地下利用においては「もの造りの技術」よりもライフサイクルを念頭に置いた「もの使いの技術」が求められているのである。

この「もの使いの技術」は維持再生技術に他ならない。既にある地下施設を長く大切に使い続けるために必要な維持再生技術に関わる知見を調査し、新たな維持再生の方策について検討する。

2. 研究テーマ

「地下構造物の維持・再生技術に関する調査研究」

3. 研究内容

3.1 研究の基本方針

前期（平成11年から13年まで）は、

- 1) 既設の地下構造物の寿命を縮める劣化要因の調査検討
- 2) 我が国の自然環境下での地下構造物の長寿命化策の検討
- 3) 時代の要請に基づいて地下構造物の改築、再生を行った事例の調査、およびその方法の研究

をテーマとして設定した。そして、三つのWGを設置して活動した。

今期はこれまでの研究成果を受け、要求性能と長寿命化の観点から、維持再生技術に関わる知見を調査し、新たな維持再生の方策について検討する。

3.2 スケジュール

表-1 に維持・再生小委員会の活動スケジュールを示す。

表-1 維持・再生小委員会活動スケジュール

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
研究体制の検討	■		
各 WG の調査研究		■	
研究成果のまとめ			■

3.3 研究体制

研究テーマ毎に WG を設置し、研究活動を行う。

- 1) 要求性能検討 WG 2) 長寿命化検討 WG

3.4 活動報告

現在, 2つのWGの活動方針とメンバーを決定するために議論中。

4. 委員名簿

(2002年11月現在)

区分	氏名	勤務先名称
委員長	亀村 勝美	大成建設(株)土木設計第1部
幹事長	梨本 裕	前田建設工業(株)土木本部土木設計部
委員	安藤 慎一郎	(株)竹中土木 技術本部技術部
委員	池尻 健	(株)セントラル技研 地盤技術管理部
委員	江崎 哲郎	九州大学大学院工学研究科
委員	岡野 法之	(財)鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部
委員	粕谷 太郎	鉄建建設(株)エンジニアリング本部企画部
委員	金子 俊輔	東電設計(株)第2土木本部公共施設部
委員	粥川 幸司	ハザマ 技術・環境本部 技術研究所
委員	桜井 達朗	日本工営(株)社会環境エンジニアリング事業部
委員	高瀬 行廣	横浜市下水道局建設部
委員	竹林 亜夫	応用地質(株)技術本部
委員	田島 聖一	(株)ロード・エンジニアリング 技術部
委員	畠中 千野	大成建設(株)土木設計第1部
委員	綿引 秀夫	東京電力(株)建設部土木・建築技術センター
委員	廣瀬 末雄	(財)高速道路技術センター 技術管理研究部
委員	藤原 康政	清水建設(株)土木事業本部技術第2部
委員	水口 尚司	(株)ニュージェック 西日本事業本部交通道路部
委員	水野 敏実	応用地質(株)技術本部
委員	森 康雄	(株)熊谷組土木本部土木技術部
幹事	岡嶋 正樹	パシフィックコンサルタンツ(株)交通技術本部トンネル部
幹事	岡田 正之	(株)ドーコン 構造部